

東京都立多摩総合精神保健福祉センター
依存症 家族教室

令和7年度 第6回公開講座



「教科書どおりにいかない 今どきの依存問題の理解と支援」

～過渡期にある現状と家族・地域ができること～

今回の家族教室公開講座は、ご自身で開業された相談室、医療機関、公的相談機関、回復支援施設など、多様なフィールドで長く依存問題の支援を経験されている、精神保健福祉士の高澤和彦先生を講師にお招きします。

ギャンブルやゲーム、浪費などの依存問題が広く浸透してきている昨今、「やめたくてもやめられない」のは『依存症』で、「やめれば問題が解決する」ととらえてしまいがちです。

しかし、WHOでも依存問題のとらえかたが見直され、「仕事や家庭が辛い」「対人関係で苦労している」「頼まれたら断れない」「金銭管理が元々苦手」など、その人ごとに多様な生活上の困りごとの背景を理解し、支援を考える方向に変化しています。

今回は、依存問題の新しいとらえ方と、家族や地域の支援者がそれを踏まえて個々の生活上の困難や苦痛を理解し、その人を取り巻く環境の整備や必要な配慮を含め『できること』についてお話しいたします。ぜひご参加ください。

日 時 : 令和8年2月17日(火) 14:30～16:00
場 所 : 多摩総合精神保健福祉センター 1階 研修室
講 師 : 精神保健福祉士 高澤和彦先生(浦和まはろ相談室代表)
対 象 : 多摩地域にお住まいの、依存症について困っておられるご家族等
と関係機関職員

お問い合わせ・申し込み先 : 広報援助課 相談担当

◆事前申し込みが必要です。1月14日(水)、9時より受付を開始します。

◆申込者多数の場合申込をお断りする事もあります。

◆お電話の場合 042-376-6580まで(月～金 9:00～17:00)

◆メールの場合 tamasou_kouza@section.metro.tokyo.jp まで

(以下を記入してください。人数の関係等でお断りする場合や中止等の際は御連絡いたします)

件名	第6回依存症公開講座
本文	① 2月17日「依存問題の個別的理解と支援」 ② お名前 ③ 連絡のつく電話番号 ④ お住まいの市町村(一般都民の方)又はご所属(関係機関の方) ⑤ 当センターで相談されたことがある・ない